

「臨床整形外科」最優秀論文賞 2021 発表

「臨床整形外科」誌では整形外科領域に関する独創的で優れた論文を最優秀論文賞として表彰しています。昨年1年間(2021年, 56巻)に掲載された投稿論文を対象に、厳正な審査のもと、下記論文の受賞が決定いたしました。

「肘痛の経験を有する野球選手における 尺側手根屈筋および浅指屈筋筋力と 最大握力発揮時の手関節背屈角度の関係」

及川直樹・清本憲太・泉水朝貴・明本 聡

榊 善成・鈴木雄貴・大堀具視

2021年11月号(56巻11号): 1367-1372

■受賞のことは

この度は「臨床整形外科」最優秀論文賞 2021 に選出いただき誠にありがとうございます。大変光栄に存じます。

われわれはこれまで浅指屈筋の筋力低下を呈した野球肘の患者様に対して、積極的にトレーニングなどを指導しておりました。しかし、浅指屈筋の筋力低下に関するエビデンスが少ないため、機能評価やリハビリテーションに活かせるエビデンスを構築したいと考えたのが本研究の原点となっております。

本論文の知見が読んでいただいた方の整形外科診療、リハビリテーション、野球肘検診などの分野に少しでもお役に立てば幸いです。また、本研究の実施には岡村健司先生、倉秀治先生をはじめとした羊ヶ丘病院整形外科の先生方、リハビリテーション科の皆様にご多大なご支援・ご協力をいただいております。この場をお借りして御礼申し上げます。今後も皆様のお役に立てるような研究を続けてまいりたいと思います。

(及川直樹)



及川直樹

日本医療大学保健医療学部
リハビリテーション学科

本論文は2023年6月1日まで1年間、医学・看護の電子ジャーナルサイト「医書.jp」内において無料でご覧いただけます。受賞者には賞状と金一封、1年間の本誌冊子版と電子版閲覧権を贈呈します。雑誌「臨床整形外科」に奮ってご投稿いただきますようお願い申し上げます。